

## 要配慮者利用施設防災講習会を開催します！

平成 28 年 4 月の熊本地震では、要配慮者の避難先となる施設も被災し、要配慮者の受入が十分にできなかったことなど様々な課題が浮き彫りになりました。

愛知県においても南海トラフ地震を始め、集中豪雨といった大規模な災害の発生が危惧されており、要配慮者利用施設※職員の防災に対する意識の向上や要配慮者利用施設のBCP（事業継続計画）策定の推進を図ることが必要です。

今回の講習会では、熊本地震で被災した要配慮者利用施設長の体験談をお聞きいただくとともに、災害を具体的にイメージできるシミュレーションゲームを体験していただきます。

是非、御参加ください。

※要配慮者利用施設：老人福祉施設、障害者支援施設、児童福祉施設等

### 1 開催概要

- (1) 主催 あいち・なごや強靱化共創センター
- (2) 共催 愛知県、名古屋市、名古屋大学
- (3) 協力 特定非営利活動法人高齢者住まいる研究会
- (4) 日時

開催回	日程	時間
第1回	平成 30 年 11 月 26 日 (月)	午後 1 時から午後 5 時まで (開場：午後 0 時 30 分)
第2回	平成 30 年 11 月 27 日 (火)	
第3回	平成 30 年 12 月 10 日 (月)	
第4回	平成 30 年 12 月 11 日 (火)	

- (5) 場所 名古屋大学減災館 1 階 減災ホール (名古屋市千種区不老町)
- (6) 定員 各回：70 名 (事前申込制・先着順)
- (7) 対象者 県内の要配慮者利用施設職員、介護・障害者相談支援専門員、社会福祉協議会職員、行政職員等
- (8) 参加料 無料
- (9) 内容

開催回	内容
第1回 ・ 第3回 (入門編)	<p>○講義：「あの時何が起きたのか？～要配慮者利用施設の苦悩とこれから考えるべき課題と役割～」(仮) 講師：社会福祉法人恵寿会 老人総合福祉施設 グリーンヒルみふね 施設長 <small>よしもと ひろし</small> 吉本 洋 氏</p> <p>○演習：災害想定ゲーム「KIZUKI」 講師：特定非営利活動法人高齢者住まいる研究会 <small>てらにし さだあき</small> 理事長 寺西 貞昭 氏 ほか</p>
第2回 ・ 第4回 (応用編)	<p>○講義：「熊本地震被災体験～福祉施設はどのように災害対策を進めていくのか？災害対応力をどう高めるのか？～」(仮) 講師：社会福祉法人恵寿会 老人総合福祉施設 グリーンヒルみふね 施設長 吉本 洋 氏</p> <p>○演習：「避難所運営ゲームHUG - 社会福祉施設バージョン - 」 講師：避難所運営ゲームHUG開発者・HUGのわ主宰 <small>くらの やすひこ</small> 倉野 康彦 氏 ほか</p>



※第2回、第4回はより実践的な内容となっており、第1回、第3回とともにご受講いただくことも可能です。

## 2 講師プロフィール

吉本 洋（よしもと ひろし）

熊本県御船町社会福祉協議会理事、認知症介護指導者、アクティビティディレクター、社会福祉施設士、防火管理者。平成 28 年 4 月の熊本地震以降、要配慮者利用施設の施設長としての被災体験を通じて、当時の課題や今後の災害対策などについての提言を発信されています。

## 3 災害想定ゲーム「KIZUKI」

特定非営利活動法人高齢者住まいる研究会が開発した、福祉施設等の B C P（事業継続計画）の策定支援を目的に、災害時を具体的にイメージできる学習ツール。地震発生直後の様々なトラブルに対して、限られた人員・時間・備品の中で、優先順位を意識して、その対応をグループで考える対戦型のシミュレーションゲームです。



災害想定ゲーム「KIZUKI」

## 4 「避難所運営ゲームHUG - 社会福祉施設バージョン -」

HUGは、東日本大震災や熊本地震、今年の西日本豪雨で役立った実績があり、全国に普及している避難所運営シミュレーションゲーム。社会福祉施設バージョンは、夜間に発生した大地震直後から利用者家族や避難者等が施設に集まってきたとの想定で、入所者の安全確保、建物の被害状況の把握、職員の安否確認、避難者の受け入れ、情報共有、様々な出来事への対応などの一連の状況を模擬体験するゲームです。

## 5 申込方法

以下のWeb上の参加申し込みフォームより入力画面に進んでお申し込みいただくか、参加申込書にご記入の上、FAXでお申し込みください。

なお、参加決定通知は行いません。定員を超過した場合は、御参加いただけない方へ御連絡します。

Webからの申込が確実です。

【講習会参加申込 Web ページ】 <https://www.kyoso-seminar.com>

### ■会場案内（名古屋大学減災館）



○地下鉄名城線  
「名古屋大学」駅下車  
徒歩約 5 分

※駐車場がありません  
ので、会場へは公共交通機関をご利用ください。

### 【あいち・なごや強靱化共創センター】

愛知県、名古屋市、名古屋大学が、産業界と共に、大規模災害発生時においても、愛知・名古屋を中核とした中部圏の社会・経済活動が維持されるための研究開発や事業を、産学官が戦略的に推進するため、平成 29 年 6 月に設立。



### ■要配慮者利用施設防災講習会 参加申込書 (FAX:052-789-2975)

施設・団体名			所属		
参加者	役職		氏名		
所在地	〒 -				
TEL	( )	-	FAX	( )	-
E-mail					
受講希望回	第	回	今後の防災講習会等の御案内	希望する	希望しない

※参加申込みに関する個人情報、本事業以外の目的には使用しません。

※参加申込は以下の Web ページからダウンロードできます。

(<https://www.kyoso-seminar.com>)

(<http://www.gensai.nagoya-u.ac.jp/kyoso/seminar&event.html>)

※複数名参加される場合はお手数ですが、本紙をコピーしてお使いください。

本件へのお問合せ先： あいち・なごや強靱化共創センター

電話：052-747-6979

Eメール：kyoso@gensai.nagoya-u.ac.jp